



観光振興による地域創生に向けた人材育成事業

大学・地域・企業 つながり通信

広島市立大学COC+ニューズレター

vol.004
2017.01

グローバルキッチンプロジェクト (GKP)。基町プロジェクトの活動拠点「M98 (eat)」を会場として、食文化についてローカルやグローバルな視点で考え、交流しています

体験を重ね 地域志向マインドを育む

大学の役割は教育、研究、社会貢献の3つとされていますが、COC+は、これらの活動を「地域との連携」という観点で捉えなおす取組です。学生や教員の地域への理解を高め、教育研究と実社会の関わりを深める事業でもあります。その中心的なテーマとなるのは、地域に対する豊かな感性を持った人材の育成・輩出です。

広島市立大学COC+では、地域貢献特定プログラムなどにより、学生が現場での活動を通じて地域を「知る」「感じる」ことから始め、課題に対して自らが「問い」「挑戦する」姿勢を養うことを目指しています。

まず基町からスタートしています

地域をフィールドとした学習カリキュラム

としては、来年度から「地域課題演習」などを行います。すでに基町プロジェクトにより、参加大学の学生と協働した地域活動が始まっています。今後は、基町プロジェクトに加えて、宮島や尾道などでのアートプロジェクトによる地域活動をさらに具体化していきます。(2ページに続く)



もとまちカフェの活動。広島修道大学と広島市立大学のメンバーが地域住民の皆さんと交流

広島市立大学COC+が 育成を目指す人材像 (スキル)

- ①地域の特性・課題を理解する
- ②総合的視野から企画できる
- ③ネットワークの形成、調整ができる
- ④専門性を効果的に発揮する



広島修道大学との協働による、もとまちカフェ。基町高層住宅を設計した大高正人氏のシンポジウムの開催に協力



安田女子大学との協働によるGKP。高齢化した地域に向け、減塩食の提供イベントを実施

基町プロジェクト「M98」

広島修道大学、安田女子大学と コラボレーション

(1ページより続く) 現在まで学生の地域活動の中心となっているのは、本学が広島市中区役所と協働して設けた教育研究活動拠点「M98」です。学生が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じ、まちの魅力づくりや地区の活性化(コミュニティデザイン)に、平成26年度から取り組んでいます。今年度はさらに「M98(make)」「M98(eat)」の2つの活動スペースを整備しました。

ここでの活動は、中区役所からの受託研究をベースとしています。高齢化などの地域課題に対して、教員、学生が地域住民の皆さんと一緒に話し合いながら様々なプロジェクトを進めています。COC+の教育プログラムにより、参加校の広島修道大学とは「もとまちカフェ」を、安田女子大学とは「グローバルキッチンプロジェクト」についてコラボレーションし、学生同士が交流しながら取り組んでいます。

Mトーク(写真右上)をはじめとした様々な活動を展開。安芸高田市のシビエをテーマとした交流も(写真右)



基町プロジェクト

活動スペース

M98 = オフィス
M98(make) = 工房
M98(eat) = キッチン

主な活動内容

もとまちカフェ
(人的交流で地域内外を繋ぐ with 広島修道大学)

グローバルキッチンプロジェクト
(食文化のワークショップや交流 with 安田女子大学)

Mトーク (住民との語りやレクチャー)

モトマチ・アートウィンドウ
(ショーウィンドウをアート感覚で展示)

創造・交流拠点づくり
(空き店舗を工房とキッチンにリノベーション)

基町、昔の写真展
(写真を軸に歴史トークや地区内ツアー)

シンポジウム開催 など

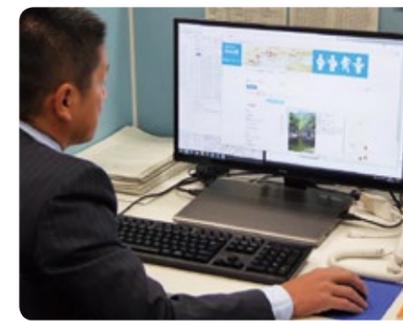
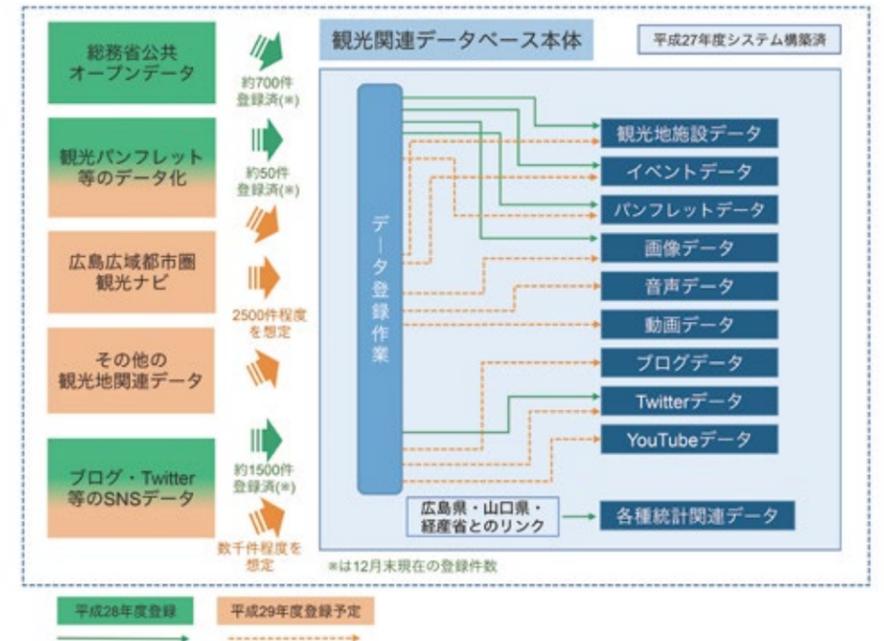
観光関連データベース

情報の集積を進めています

本学COC+において主要な事業の一つとなっている「観光関連データベース」の構築。Area25の地域内の観光施設や観光振興の事例などを収集し、教育研究の素材とするのをはじめ、各大学や自治体、企業に活用していただくことを想定しています。コンテンツとして特徴的なのは、観光施設や観光イベント、画像などの一般的なデータのほかに、ブログやツイッターなどのSNS(人々が観光地などを訪れて発信する情報)の集積も行っていることです。これらの動的な情報の分析によって、新たな知見が得られることも期待されます。

平成27年度にデータベース本体の基本システムを作成し、トライアル版による学内でのテスト運用を行いながら、各種データの登録作業を進めています。また、既に他の機関が公表しているデータについても連携して使えるようにします。セキュリティを含めた運用方法等について調整を行い、来年度には、関係機関の方々にも閲覧していただけるよう準備を進めています。

観光関連データベースの進捗状況



宮島にCOC+活動拠点を開設



この町家をCOC+活動拠点として活用。町家通りの山側の道に面し、観光客の往来もある

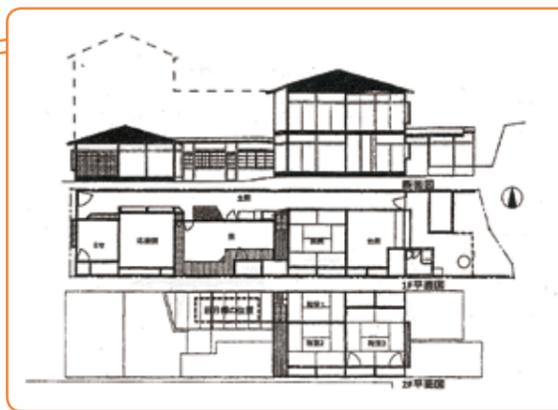
歴史ある町家建築を活用

広島市の都心部にある活動拠点「M98」とともに、世界的な観光地である廿日市市宮島での活動を進めるため、新たな拠点を設けました。

施設は19世紀後半頃に建てられた町家建築で、宮島における貴重な建造物の一つです。フェリーターミナルや表参道商店街にも近い場所に立地しています。この建物

を、一部保存改修の手を加えて活用します。

歴史を感じる空間として、建物自身が教育素材になるとともに、アートプロジェクトでの創作・展示(工芸、絵画など)をはじめ、地域での演習やセミナーの開催、地域交流の場、宮島の歴史・文化の学習やフィールドワークの拠点など、COC+参加校のプログラムも含めて幅広い活用が期待されます。



京都型町家建築で、通り土間や坪庭がある。江戸時代末期頃に平屋部分が建築された。宮島における貴重な町家の一つ(資料提供、広島工業大学)



徳島県神山町の 大南信也さんを招いて フォーラム2017を開催

人口減少社会を迎え、各地で地域の再設計が試みられているなか、若者の定住や企業、大学のオフィスの誘致や活性化に顕著な実績を挙げている神山町。牽引してきたのはNPO法人グリーンバレー理事長の大南信也さんです。

人口5300人の山間の町が地域資源をどのように活かして挑戦してきたのか。大南さんは「神山と同じようにはならないにしても、我々が節目節目でどう考え、判断してきたかを知ってほしい」と語ります。机上の地域再生論ではなく、積み重ねた実践談から、多くのヒントが得られるものと思います。ぜひお越しください。

COC+ 事業協働地域



広島・山口Area25

事業協働機関

(大学等9校) 広島市立大学、広島大学、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、安田女子大学、広島商船高等専門学校 (自治体25市町) 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町 (経済団体・企業・NPO法人32機関) 中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会 オタクソース(株)、(一社)尾道観光協会、呉信用金庫、(株)グリーンヒルホテル尾道、(公財)コミュニティ未来創造基金ひろしま、山陽工業(株)尾道国際ホテル、(株)中国新聞社、西中国山地観光施設等連絡協議会、日工(株)、(株)ハイエレコン、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(株)広島銀行、広島市信用組合、(公財)広島市文化財団、広島信用金庫、広島電鉄(株)、(株)広島東洋カーブ、広島日野自動車(株)、(公財)広島平和文化センター、(株)福屋、(株)プリンスホテル グランドプリンスホテル広島、(株)ホテルグランヴィア広島、(株)ホライズン・ホテルズ ANAクラウンプラザホテル広島、マツダ(株)、(株)もみじ銀行、(株)山本屋、特定非営利活動法人キャリアプロジェクト広島、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター (企業等・NPO:五十音順)

事業の4つの柱

広島市立大学の人材育成のためのカリキュラム
広島を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」

<p>1 地域志向型の教育カリキュラムの充実</p> <p>「広島を知る、感じる、問う、挑戦する」の4段階で構成するカリキュラムの新設</p>	<p>2 観光関連データベースの構築・活用</p> <p>教育や観光振興策の提案等に活用するため、観光関連情報を網羅的に集積し活用</p>	<p>3 アートプロジェクト等の教育研究事業の実施</p> <p>本学芸術学部を中心として参加大学と連携したフィールドワーク等の教育研究事業の展開</p>	<p>4 インターンシップの強化</p> <p>地元企業によるインターンシップの受け入れ強化</p>
---	---	---	--

COC+とは?

COCはセンター・オブ・コミュニティの略称。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、地方への人の集積を目的に、大学・自治体・企業等が協働して、地域に定住し、貢献していく人材を育成する取組への文部科学省の補助事業。

【編集発行】 広島市立大学社会連携センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL 082-830-1542 FAX 082-830-1555
<http://www.cocplus-hiroshima-cu.com/>



地(知)の拠点
広島広域都市圏と尾道市の25市町 地域・若者・大学・企業
広島市立大学 COC+フォーラム2017
つながれば始まる
変革へのチャレンジ! 若者の地域志向マインドを育てる! これからの地域デザインのあり方とは。

広島・山口 Area25

2017年 1月24日(火) 15:00~17:00 ● 広島国際会議場 入場無料 先着140名

基調講演 神山発! 日本の田舎をステキに変える
人が人を呼ぶ地域資源の活かし方

講師 大南信也氏
NPO法人グリーンバレー理事長・徳島大学客員教授

●大南信也(おおみなしんや)さん ●1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学大学院修了。「創造的過渡」を提論し、アーティスト・イン・レジデンスや移住促進、IT企業や大学のサテライトオフィス誘致など多彩な活動を展開。創造性を持つ若い人材の誘致によって、人が人を呼ぶ地域と地域内外の連携を生みだし、「神山モデル」とも称されている。●一般社団法人神山つなぐ社業務執行理事。内閣官房ふるさとづくり有識者会議委員。文化庁文化審議会文化政策部会委員。四国大学特任教授。東北芸術工科大学客員教授。

基町プロジェクト
創造的な文化芸術で地域活性化を目指す
報告/広島市立大学芸術学部
中村 圭 講師

フォーラム会場 広島国際会議場 ダリア2
広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)
●ご会場には公共交通機関をご利用ください。

情報交換会
フォーラムに引き続き情報交換会を開催
会場/広島国際会議場 ダリア1
17:15~18:30 講師を交えて情報交換
会費2,000円 事前申し込みが必要(要西)。

広島市立大学 社会連携センター 〒731-3194
広島市安佐南区大塚東3-4-1
TEL 082-830-1842 FAX 082-830-1555 mail: shakai@office.hiroshima-cu.ac.jp